

和泉市信太山丘陵市有地公園協議会 令和元年度第1回企画運営会議  
議 事 録 (要旨)

開催日時：令和元年10月18日(金) 午前9時30分～11時30分  
場 所：和泉市コミュニティーセンター1階 大集会室

出席者：令和元年度和泉市信太山丘陵市有地公園協議会会員

(1) 学識経験者〔特別会員A〕(50音順、敬称略)

大阪市立大学大学院工学研究科教授	内田 敬
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授	藤原 宣夫
大阪府立大学名誉教授	増田 昇

(2) 地元町会・自治会〔特別会員B〕(50音順、敬称略)

和泉市民	熊田 泰行
和泉市民	名倉 克己

(3) その他 前和泉市信太山丘陵保全・活用検討ワークショップ会員  
〔特別会員C〕(50音順、敬称略)

和泉市民	田丸 八郎
和泉市民	三輪 健一郎

(4) 〔団体会員〕(50音順、敬称略)

信太の森 FAN クラブ代表	島崎 舜次
いずみの国の自然館クラブ代表	梁取 征弘

(5) 和泉市職員〔市側会員〕(機構順)

和泉市環境産業部 環境保全課課長	前田 淳
同 同 課長補佐	関 憲司
同 同 自然環境係長	平田 裕樹
和泉市都市デザイン部 道路河川室道路担当総括主幹	武市 直樹
同 同 道路担当主任	奥野 泰史
和泉市生涯学習部 文化財振興課課長	森下 徹
和泉市都市デザイン部 公園緑地課課長	山抱 正嗣

(6) 事務局 和泉市職員 (機構順)

和泉市都市デザイン部 公園緑地課課長補佐	横田 伸二
同 同 整備係長	岩田 真知
都市デザイン部 公園緑地課緑化推進係主任	野間口 知基
同 同 整備係主任	村地 裕士

## 次 第

### 1. 開 会

- (1) 会長挨拶

### 2. 議 事

- (1) 総会協議事項についての振り返り・・・・・・・・・・資料 1  
報告事項

- (2) 7月～10月の活動報告

- 1) 活動概要報告・・・・・・・・・・資料 2

- 2) 個別活動報告・・・・・・・・・・資料 3

- ①環境保全活動

- ②保全活動ミーティング

- ③信太山里山講座

- ④緑の自然観察会

- ⑤湿地保全調査

- ⑥広報PR

協議事項

- (3) 公園整備計画・・・・・・・・・・資料 4

- 1) 今年度の整備計画

- 2) 利用形態に基づく各施設の検討

- ①活動拠点施設

- ②トイレ

- 3) 市道信太5号線関連（ロードキル対策施設）

### 3. その他

上記2. 議事の『(1) 総会協議事項についての振り返り』について、資料1に基づき事務局（株式会社ヘッズ）より説明を行った。

また、報告事項として、『(2) 7月～10月の活動報告』について、「1) 活動概況報告」については、資料2に基づき、「2) 個別活動報告(①環境保全活動、②保全活動ミーティング、③信太山里山講座、④緑の自然観察会、⑥広報PR)」については、資料3に基づき、「⑤湿地保全調査」については、パワーポイントにて、事務局（同）より説明を行った。

協議事項として、『(3) 公園整備計画』について、「1) 今年度の整備計画、2) 利用形態に基づく各施設の検討、①活動拠点施設、②トイレ」については、資料4に基づき、「3) 市道信太5号線関連（ロードキル対策施設）」については、パワーポイントに基づき事務局（同）より説明を行った。

## 2. 議事内容

### ■報告事項

委員

38名の自然観察会の一般参加は、どこから情報を得て参加していたと思われるか。

事務局

チラシを見て申し込んできた方が多いと考えている。これは、今年度の申込の圧倒的多数がホームページからの問合せであったこと、記載されているメールアドレスが携帯電話のアドレスであったことから、チラシの裏面に記載されているQRコードを読みとって申し込まれた可能性が高いと判断していることによる。

委員

どういった広報媒体から自然観察会のことを知ったのか、アンケートを取っていないのか。

参加者にアンケートをとって、今後、活動に興味のある方にメールアドレスを書いて頂き、案内を送付してはどうか。「HPを見てください」ではなくて、こちらから積極的に案内しないと活動への参加者は増えていかないのではないかと。継続的に参加いただけるならこの方法が良いのではないかと思う。

事務局

今回は取っていない。しかし、広報活動の改善点として、今年度は市域全域の公共施設や泉北高速鉄道の和泉中央駅にチラシを設置し、広く周知した。

委員

保全活動は15時までやっているが、トイレはどうしているのか。

事務局

先月まで9時開始だったが、来月の11月から10時からにする。トイレは昼の時に家に帰るか、惣ヶ池公園のトイレを利用している方が多い。今後は、常設にするのかリースにするか等、検討中である。

委員

湿地保全の活動をされているが、雑草等の刈取り回数は足りているのか、雑草群落の勢いはどのようなものか。刈取りの頻度が増しているのか、勢いは少なめか。

事務局

回数は十分ではないと認識している。現在は、冬場に全面刈り取りしている状況である。今後は、協議会でも相談できればと考えている。

委員

頻度を上げないといけないのではないかと。体力にもよるが、少しずつ改善していけるようにしてほしい。

事務局

毎年冬に1回草刈りしている。1年間定期的に調査しているが、6月7月から背丈が高く

なり、草の陰に大事な花が埋もれていく。来年度からは年に2回ほど草刈りはしないと  
いけないと思う。

## ■協議事項

会員

建物の敷地の雰囲気はどうか。

事務局

建物と広場が繋がり、テラス、多目的室、入口、トイレと倉庫がある。

委員

屋外のテラスの前をどうするか、土足で倉庫に入っていくことや、駐車場側の出入口に  
ついて、何か考えていないのか。

建物の中身が決まってくると、詳細に設計する必要がある。事業・計画ミーティングで  
広場周辺や、周辺環境の建物の内装・構造等について議論頂きたい。

事務局

今は建物の向きだけしか決まっていない。

会員

建物の形状は変わらないのか。下の惣ヶ池を展望できる施設にできないか検討をお願い  
していたが、テラスから入って惣ヶ池を展望できる配置にすることはできないか。

委員

テラスの配置を南向きにする、機材の搬出入が駐車場側から直接可能な配置にする、広  
場の右側からも出入り可能にするなど、事業・計画ミーティングで検討する必要がある。

テラスの使い方なども含めて2~3案つくって議論頂きたい。

事務局

谷を望んで惣ヶ池を展望できる建物配置も以前検討したことがある。今後、惣ヶ池を展  
望できる配置が可能かどうかとも検討する。

会員

斜面に対してテラスが正対するよう、建物の向きを90度回転させてはどうか。

事務局

今回はテラスと多目的室と広場空間ができるだけ一体的になるように考えた。

今後、建物の配置等について複数案提案させて頂き、事業・計画ミーティングにて、検  
討していきたいと考えている。

会員

公園に歴史などを紹介する資料室のようなものと、小規模なものでもいいので、子供が  
来た時に利用可能な図書室兼資料室があれば良いのではと思う。

#### 委員

図面を見ると、事務室の横に、展示可能なスペースを検討されているようである。

#### 事務局

現在検討している案では、常時展示できるスペースがあり、また、壁面でも展示物を設置できるようなものを想定している。多目的室は、展示や図書スペースとしても利用できるようにし、プログラムに応じて柔軟に配置の変更が可能なものを検討中である。

#### 会員

総会でも言ったが、信太山丘陵の周辺には歴史的な文化財がある。道路整備が予定されているところは高台で全体が見渡せる立地であり、弥生時代に渡来人が来た時、全体を統治するという場所になったという歴史的な経緯のある場所である。

信太山丘陵の周囲には、江戸中期には平和になったにも関わらず、伯太藩があり、戦国山城風の陣屋ができて、十数年たって元に戻ったとか、ミステリアスな話題を提供できるものがある。信太山丘陵に来た人が、高台に上がると信太山丘陵の全貌はもちろん、瀬戸内海まで見ることができるといった使い方ができる場所にできないか、と期待している。高台から俯瞰できることは良いのではないかと思う。

#### 委員

文化財の調査をしないといけない場所だと思う。事業・計画ミーティングでそんな議論は出ているか。役割分担などを検討して頂きたい。

#### 事務局

歴史に関する議論は出ていないが、緑が多くて、樹林を見渡せるところや、高所から見渡せるところがあれば良いという意見はある。歴史については、近くにふるさと館があるので、ふるさと館との連携や役割分担を検討する必要があると考えている。

#### 会員

道路を挟んで、西側の広場と東の谷筋側を渡す陸橋のようなものをつくってはどうか、そうすれば信太山丘陵を展望できると思われるので検討してほしい。

#### 委員

樹冠を観察できる空中回廊を作ってはどうかということだと思う。展望と道路の横断を兼用できる施設の設置が可能かどうか、事業・計画ミーティングで検討頂きたい。

和泉市は林業が活性化している都市なので、市内産木材を活用した活動拠点施設の木質化や木造化を検討できないか。今年から運用されている森林環境譲与税を活用した施設の木質化、木造化が展開できると良いと思われる。実現可能かどうか検討し、可能であれば市内産木材の調達の方法について検討して頂きたい。池上曾根遺跡の弥生博物館の掘っ立て柱のこともある。

#### 事務局

周辺のプランをつくって事業・計画ミーティングで話し合いたい。

#### 委員

すでに活動もしているが、2024 年に向けて、やはりトイレの問題を解決してほしい。先行的に 2021 年度には段階を踏んで施設整備をすることも大事である。現地で看板を作ることや、北東側に設置するトイレの検討も必要ではないか。

駐車スペースをトイレや活動拠点施設の近くに確保できるよう、検討してはどうかと思われる。

#### 委員

開園まで5年あるので、トイレ等について、仮設で対応するか、先行して整備するか議論頂きたい。

泉佐野丘陵緑地では、まず大型のあずまやと倉庫とトイレの一体型で先行的に整備して、道具を置く、軒の下にテーブルを置いて会議をするなどの利用を行った。

暫定利用期間、開園前の活動支援に対して予算投入していくのは重要であるので、事業・計画ミーティング等で議論して下さい。仮設トイレのこともあるのでぜひ検討頂きたい。

#### 委員

事業・計画ミーティングは、まだ1回しか開催していないが、これから開園しなければいけないという人の発言と、よりおもしろいものにしたいと思う人の意見がぶつかっていく場であり、とても重要である。このため、夢のあるプランをつぶさない方向で検討してほしい。スカイウォークのようなものをつくる話がでたが、開園後すぐではなく、時間的余裕をもってじっくり作っていくことも含めて検討してほしい。公園の整備は終わらないし、ずっと続く。チャンスがあったら作るプランとして活かしてほしい。

#### 委員

スカイウォークをつくることの参考として、昔の物干し台をイメージして建物と接続させ、遠くを眺められるようにするなどを考えるのもよい。また、大阪の堀川沿いの家にある夕涼み台等を参考にして頂きたい。

公園は開園して終わりではなく、作り続けるものという認識をもって頂きたい。

保全活動も続けていくので、従来型の公園のように補修計画をやればよいという認識ではなく、公園そのものが可変性を持つことも重要だと思う。

#### 会員

開園前から一般の人をいれて、観察会や園内を案内するイベントを検討してほしい。

#### 委員

開園直前には、観察会を季節毎に最低1回実施するほか、2か月に1回は市民に対して信太山丘陵の利用を啓発するプログラムを実施できないか考えてほしい。

今年の観察会では一般参加者も来て活性化したが、今後はガイドウォークの会や、子どもを対象としたクラフト教室など、プログラム数を増やしていく検討をして頂きたい。

#### 会員

開園は5年後だが、信太の森 FAN クラブでは立ち入り申請をして毎月自然観察会を実施している。自然観察会についてはすでに毎月実施しているので、あえて広報して別に実施する必要はないと思う。開園した後、ご利用くださいと広報すれば良いのではないかと思う。

#### 委員

市民の方に使っていただくことや知っていただくことが大事で、活動していることが市民に伝達できていることが大事である。活動しているからもうよいのではなくて、植生の荒廃につながらないような活用の仕方を模索することが大事である。

保全活動でしか公園に入れないのではなくて、市民による公園利用と自然環境の保全活動が共存できるような暫定利用の仕方を事業・計画ミーティングで話し合ってもらいたい。

#### 会員

園路ができあがるのはいつなのか。園路が早くできれば「立入禁止」などの看板を立てて、安全を確保しながら、活動に参加されていない一般の方にも公園に入ってもらって利用して頂けると思うので、園路の完成を急いでほしい。

また、ふるさと館でも観察会を行っていることを踏まえ、その他の市が関わる観察会も、協議会の観察会として実施できないか検討するなど、開園までの暫定利用の仕方について模索していく必要があると思われる。

#### 委員

暫定利用の使い方は議論する必要があると思われる。

#### 会員

ワークショップの規則を撤廃しないとできないのではないか。

#### 委員

例えば、広場と園路は自由利用とし、植生地については原則立ち入り禁止として、植生地に入る際の利用申請等、利用ルールに関するリーフレットの作成や、現地への看板の設置による立入制限など、市民への周知と園路や広場の整備を一体的に整理してはどうか。開園までの信太山丘陵の暫定利用のルールを考える必要があると思われる。

#### 会員

5年後の開園までに、先行して一般の方が散歩できる形にできないか。園路やあずまやなどがあれば良いのでは。観察会だけの話ではない。

#### 委員

事業・計画ミーティングで暫定利用のあり方について議論して頂きたい。

#### 会員

倉庫をどうするか決めてほしい。

委員

トイレ付あずまやとあずまやの役割分担と、整備する施設の優先順位、活動をサポートするために、どんな施設整備が必要か議論して頂きたい。

委員

2024年の開園に向けて、「暫定利用」と「開園」の違いをしっかりと決めておくこと。暫定的に整備を進めていかないと開園に間に合わない。また、開園してそこで終わりではなく、そこから10年先の構想を示す必要がある。市の公式見解として、5年後の開園時に整備が完了している施設が何かをはっきりさせておく必要があると思われる。

委員

資料4のスケジュールで対象施設があるので、開園時はどれが整備されているのか、暫定利用期間の中ではどれが整備されているのかなど、今後の発展性などを色付けで表現していく必要があると思われるので、市の内部で考えておいて頂きたい。

委員

開園時に一般公開する施設が1～2施設あると良いと思われる。

委員

国庫補助金の交付決定が下りるまで何もしないのではなく、運用の仕方の可能性を探る議論を行うなど、市の内部でも検討を進めて頂きたい。

会員

前回の事業・計画ミーティングでトイレ問題が話題になり、東側のあずまやのトイレについてできるだけ早めに予算を取って考えたいという発言があった。トイレの設置がいつ頃できそうか市で議論されているのか。

前倒し着工の話や、女性の参加者から仮設トイレは嫌という意見もあった。

イベントの時のプレハブトイレであれば十分と考えている。

委員

来年の単発的な話でなくて、5年後の開園に向けた整備スケジュールや予算要求について検討して欲しい。5年後まで仮設トイレでいくのではなくて、5年間でどのように整備を進めていくのか、整備戦略を考えていって頂きたい。

事務局

今の状況では女性が保全活動などに参加しにくいという話もある。本整備は難しいので、来年度にむけて仮設のトイレについて予算の要求をしていきたい。

委員

信太5号線関連は、詳細設計に入っているのか。

事務局

入っている。



委員

工事期間中の配慮を考えてほしい。カスミサンショウウオの移動時期に工事をしないように配慮いただきたい。

委員

工事の着工はいつか。カスミサンショウウオの繁殖時期や行動に留意した上で、道路の工事の期間や整備の進め方を検討して頂きたい。

事務局

5号線については、早くて令和3、4年度に文化財の調査をして、順次道路整備に入っていく。

委員

生き物横断管の施工スケジュールを確認したい。横断管の施工の順序としては、横断管を先に埋めて横断管の周囲の環境を整えた上で、路盤、表層、舗装とかの工程を進めることは可能なのか。

事務局

施工の順番としては、先に横断管を入れた後、路盤を整備していく予定である。ただし、横断管の取付部分は暫定的な形になると思われる。

会員

工事の期間はどれくらいかかるのか。カスミサンショウウオやアカガエルは1月から3月が繁殖期なので配慮いただきたい。

事務局

2年位だと思う。

委員

次の報告の機会までに、施工スケジュールを検討し、報告して頂きたい。